

— 無限宇宙にうかぶ地球星が、たくさん子どもたちのよこびで光りますように
それを不可能と思うとき、すべては不可能になるのですから —

児童文学者 あまきみこ

7年間に及ぶ同志浜崎満の介護の日々が続く中、私は多くの医療関係者、福祉の仕事に携わる方々に大変お世話になる日々が続いた。そんな中、現場で働く方々の仕事を垣間見、何と大変な仕事に従事されているのだろう。私はこの方々のお陰で劇団の仕事の持続が許されていると考える中、一表現者として何かこの方々を讃える仕事がしたいとの想いが日増しに強くなり、多くの福祉関係の本を読みあさり、結果として辿り着いたのが、ベトちゃんドクちゃんと共に歩んだ人々であった。

そこには多くの方々の熱意と献身、連携の姿があり、それは私の日々追い求めるもの、理想の姿でもあり、人々の熱い想いが時代を動かす原動力ともなっていた時代が描かれている。

「21世紀、世の中そんなに甘くありませんよ。」との若者の声を聞く。事実である。事実であるが、甘くないからこそ、今こそ私達は理想の世界に今一度立ち戻り、甘くない現実を少しずつ、少しずつ、皆の力で変えていかなければならないように考えている。そしてそれが、これからの時代を担っていく若い人達への私たちの責任なのだろうと想う日々でもある。

児童文学者あまきみこ先生のお言葉「熱い想いを大切にね」。繰り返す自身に言い聞かす言葉である。

また、いつも私共の活動を支えてくださる皆様、今回の公演に賛同いただきました皆様方に心より深く御礼申し上げます。尚、今公演にあたり、3年の歳月を重ね、作品脚色制作等にご協力いただきました、藤本文朗先生、河原正美様、倉田正先生、宇佐見芳弘先生、黒川美富子女史に深く御礼申し上げます。

資料提供；藤本文朗氏、倉田正氏、河原正美氏、宇佐見芳弘氏

参考文献；「がんばれベトちゃんドクちゃん」かもがわ出版（1986年）

「ベトちゃんドクちゃんだけでなく」文理閣（1997年）

「ベトとドクと日本の絆」新日本出版社（2010年）

「ベト・ドクと考える世界平和」新日本出版社（2017年）



分離手術後のベトちゃん（1993年）



特製車椅子で遊ぶ4才のベトとドク（1985年）



分離手術後のドクちゃん（1993年）



30周年分離手術記念式典（2018年）



分離手術直前のベトとドク（1987年）



ハノイ師範大学ホーチミン分校 卒業生の今（2019年）

